



【誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト】



への取組み紹介

私たちは誤嚥性肺炎ゼロを目指しています。若葉苑で2023年4月より取組みを推進している「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」。6/11（火）には、オンラインにて、令和6年度最初のOHAT（Oral Health Assessment Tool）*歯科専門職でなくてもお口の機能をアセスメントできるように作られたスクリーニング方法を実施しました。

【誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトとは】

介護現場に正しい口腔ケアを届け、誤嚥性肺炎をゼロにすることを目的として2016年に設立されたプロジェクトです。(株)クロスケアデンタルの誤嚥性肺炎の実態調査で、100人規模の施設では年間に約20%弱の入居者が肺炎を発症し、その中の多くの方が施設に戻れず死に至っていることが分かりました。このデータをもとに2017年8月から、介護施設への口腔ケアが開始されました。介護スタッフの口腔ケアによって、開始後すぐに肺炎を激減し肺炎だけでなく全ての疾患も減少し、入院日数は全施設合計で平均約50%以上も削減される結果が得られています。

皆様もご承知の様に、今年度の介護報酬改定にて、基本サービスの中に「口腔ケア」が義務づけられました。今後も口腔ケアを効果的に実施していき、誤嚥性肺炎予防、誤嚥性肺炎ゼロ、入院日数等が減少するよう、職員一丸となって取り組んで参りますので、皆様方のご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

